



主要産地における令和2年度水稲の生育状況等について 第8報 (7月7日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和2年7月7日)

| 道府県 | 区分 | 生育状況等 | | (参考) |
|-----|------|---|--|---|
| | | 育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) | 技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体、気象台等公表資料の抜粋) | |
| 北海道 | (生育) | <p>【生育状況 (7月1日現在)】</p> <p>(全道) 生育は、平年並に進んでいる。(北海道農政部 7月6日付)</p> <p>(空知) 生育は平年並である。(空知総合振興局 7月6日付)</p> <p>(石狩) 生育は平年並である。一部で幼穂形成期に入っている。(石狩振興局 7月6日付)</p> <p>(後志) 遅速は±0日。(後志総合振興局 7月6日付)</p> <p>(釧路) 生育は平年並。(釧路総合振興局 7月6日付)</p> <p>(日高) 生育は平年並である。(日高総合振興局 7月6日付)</p> <p>(渡島) 生育は順調。分けつは良好で、茎数は多い。(渡島総合振興局 7月6日付)</p> <p>(檜山) 生育は概ね平年並で推移。(檜山振興局 7月6日付)</p> <p>(上川) 生育の遅速は、平年並に推移している。(上川総合振興局 7月6日付)</p> <p>(留萌) 生育は平年並に進んでいる。日照不足と気温の日照差が小さいため、茎数が少ない。(留萌振興局 7月6日付)</p> <p>(オホーツク) 生育はやや進んでいる。(オホーツク総合振興局 7月6日付)</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】</p> <p>北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側で多く、それ以外は平年並が多い見込み。日照時間は、平年並と少ない見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期警戒情報】</p> <p>北海道地方は7月8日頃からかなりの高温(5日間平均気温平年差+2.0℃以上)の可能性。(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>北海道地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p> | <p>・主要品種に大きな変動はないものの、産種増に選した新品種「えみまる」が増加すると見込まれる。</p> <p>(農林水産省 3月17日)</p> <p>(以下同じ)</p> |
| 青森 | (生育) | <p>【水稲の県生育観測における6月30日現在の調査結果】</p> <p>(平年と比較して)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草丈は「つがるロマン」がやや長め、 ・茎数は「つがるロマン」がやや少ない、「まっしぐら」がかなり多く、 ・葉数は「つがるロマン」が並、「まっしぐら」がやや多くなっている。 ・葉数からみた生育進捗は、3日程度遅れている。 <p>(出穂期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つがるロマン」は津軽地域が8月2～6日頃、県南地域が8月7日頃、 ・「まっしぐら」は津軽地域が8月2～11日頃、県南地域が8月5日～17日頃と予想される。 <p>(青森県 7月3日付)</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量は日本海側で多く、太平洋側は平年並が多い見込み。日照時間は日本海側で平年並と少なく、太平洋側で、ほぼ平年の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期警戒情報】</p> <p>東北地方は7月8日頃からかなりの高温(5日間平均気温平年差+2.4℃以上)の可能性。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> | <p>・「つがるロマン」「まっしぐら」の2品種で9割を占める品種構成で、近年収量水準の高い「まっしぐら」が増加傾向にあり、令和2年度も同様の傾向になるものと考えられる。</p> |
| 岩手 | (生育) | <p>【6月25日現在】</p> <p>(1) 農業研究センター (北上)</p> <p>「ひとめぼれ」「あきたこまち」の草丈、葉齢は平年並で、茎数は平年を大きく上回り、葉色は平年をやや上回っている。「銀河のしずく」の草丈は平年より長く、茎数、葉齢は平年並みで、葉色は平年より下回っている。</p> <p>(2) 県北農業研究所 (軽米)</p> <p>「いわてっこ」の草丈、葉齢は平年並みで、茎数、葉色は平年を下回っている。(岩手県 6月26日付)</p> <p>【6月24日現在】</p> <p>(3) 大船渡農業改良普及センター「あきたこまち」「銀河のしずく」「ひとめぼれ」</p> <p>各品種とも順調に生育しており、目標茎数に達したほ場が多くみられる。(大船渡農業改良普及センター 6月26日付)</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量は日本海側で多く、太平洋側は平年並が多い見込み。日照時間は日本海側で平年並と少なく、太平洋側で、ほぼ平年の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期警戒情報】</p> <p>東北地方は7月8日頃からかなりの高温(5日間平均気温平年差+2.4℃以上)の可能性。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> | <p>・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県では「ひとめぼれ」「あきたこまち」からオリジナル品種「銀河のしずく」に転換を図ることとしている。</p> |
| 宮城 | (生育) | <p>【7月1日現在】</p> <p>(県全体の平均)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草丈は50.3cm (平年比104%)、1m当たりの茎数は548本 (平年比97%)、葉数は10.0枚 (平年差+0.1枚)、 ・葉色はG値が42.2 (平年差-0.1)となっている。 ・平均気温は高めに推移し、生育は平年並みで概ね順調。(宮城県 7月2日付) <p>(仙台・移植栽培)</p> <p>草丈は、いずれの品種においても前年並または前年を上回っている。茎数は、前年を下回るほ場もあったが、概ね前年を上回っている。葉色は一部のほ場を除いて前年より低い傾向にある。6月は平均気温が高く推移しており生育は順調。(仙台農業改良普及センター 7月2日付)</p> <p>(大崎) 生育は順調に進んでおり、草丈と茎数は平年並～やや上回る。(大崎農業改良普及センター 7月2日付)</p> <p>(東原) 草丈：ほぼ平年並。茎数：平年より少ない。葉数：ほぼ平年並。茎数が増加し、早いほ場では有効茎数を概ね確保。(美里農業改良普及センター 7月3日付)</p> <p>(石巻) 「ひとめぼれ」の草丈は53.0cm (平年比105%)と平年に比べやや長く、1m当たり茎数は550本 (平年比88%)と少なく、主稈葉数は10.5枚 (平年差+0.2枚)とやや多く、葉色はSPAD値で42.3 (平年差-0.9)となっている。</p> <p>「ササニシキ」の草丈は47.0cm (平年比103%)と平年並み、1m当たり茎数は502本 (平年比89%)、主稈葉数は9.6枚 (平年差-0.4枚)と少なく、葉色は41.0 (平年差+0.9)となっている (石巻農業改良普及センター 7月3日付)</p> <p>(気仙沼) 管内の生育調査においては、葉数は前年並。茎数は前年並からやや多くなっており、生育は順調に進んでいる。(気仙沼農業改良普及センター 7月3日付)</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量は日本海側で多く、太平洋側は平年並が多い見込み。日照時間は日本海側で平年並と少なく、太平洋側で、ほぼ平年の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期警戒情報】</p> <p>東北地方は7月8日頃からかなりの高温(5日間平均気温平年差+2.4℃以上)の可能性。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> | <p>・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっており、「つや姫」が増加傾向となっている。「萌えみのり」「だてまき」はやや増加傾向にある。</p> |
| 秋田 | (生育) | <p>(由利) 6月25日の水稲定点調査結果 (2品種・移植5か所平均) によると、草丈は41.2 cmで平年よりやや長く (平年比109%)、mあたり茎数は485本で平年よりやや多い (平年比105%)。葉数は9.0葉で平年よりやや多く (平年差+0.4葉)、葉色は42.7で平年より薄くなった (平年差+1.6葉)。(6月26日付)</p> <p>(秋田) 6月25日の調査では、草丈がやや高く、茎数、葉色は平年並みとなっている。(6月26日付)</p> <p>(山本) 6月25日の水稲定点調査結果 (あきたこまち9地点平均) は、草丈40.6 cm (平年比112%)、茎数466本/m² (平年比119%)、葉数9.0 (平年比+0.4) 葉緑率計値 (SPAD値) 44.3 (平年比100%)。ほ場間差はあるものの、概ね目標茎数450本/m²を確保している。(7月3日付)</p> <p>(平鹿) 6月25日現在の水稲定点調査 (あきたこまち11か所) では、草丈36.7cm (平年比105%)、茎数399本/m² (同比124%)、葉数は9.7葉 (同差+0.5葉)となっている。(6月26日付)</p> <p>(鹿角) 6月25日の水稲生育定点調査では、草丈39.4cmで長く (平年比105%)、mあたり茎数は491本で多く (平年比127%)、葉数は9.0葉でやや多く (平年差+0.2)、葉色はSPAD値43.4で薄い (平年比95%)。(7月3日付)</p> <p>(北秋田) 水稲定点調査の結果、草丈は平年比103%、茎数は平年比108%、葉数は+0.2葉となっている。5月下旬から6月にかけての好天により、生育が順調に進んだ結果、平年より生育が進んだものと考えられる (6月26日付)</p> <p>(雄勝) 本年は気温が高めに推移したことから、分けつの発生が促進された。(7月3日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量は日本海側で多く、太平洋側は平年並が多い見込み。日照時間は日本海側で平年並と少なく、太平洋側で、ほぼ平年の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期警戒情報】</p> <p>東北地方は7月8日頃からかなりの高温(5日間平均気温平年差+2.4℃以上)の可能性。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> | <p>・「あきたこまち」を中心とする品種構成で大きな変化はないものの、「めんこいな」「ゆめおぼこ」等の多収性品種が増加傾向となり、一定のウエイトを占めてきた。</p> |
| 山形 | (生育) | <p>(東村山) 「つや姫」「雪若丸」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茎数は並～やや多、葉色は並～濃い状況(6月30日現在)(村山総合支庁農業技術普及課 7月2日付) <p>(鶴岡田川)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出穂期は平年並みからやや早まる予想 (7月1日現在)。 ・「あきたこまち」7月27日、「ひとめぼれ」7月30日、「はえぬき」7月31日、「雪若丸」7月31日。 ・(庄内総合支庁農業技術普及課 7月3日付) <p>(北村山)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月30日現在の調査の「雪若丸」の生育は、茎数は平年より多く、葉数・葉色は平年並み。 ・管内の「つや姫」の生育は、葉数は指標よりやや遅れているが、概ね平年並み。出穂期は平年並みと予想。(村山総合支庁産産経済部北村山農業技術普及課 7月3日付) <p>(西置賜) 「はえぬき」「つや姫」「雪若丸」6月30日現在の生育状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草丈は長く、茎数は概ね平年並 (雪若丸は指標値より多い)、葉色は平年並、葉数は平年並～やや多い状況。 ・出穂期は、平年並～2日程度早い予想。(置賜総合支庁産産経済部西置賜農業技術普及課 7月3日付) | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量は日本海側で多く、太平洋側は平年並が多い見込み。日照時間は日本海側で平年並と少なく、太平洋側で、ほぼ平年の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期警戒情報】</p> <p>東北地方は7月8日頃からかなりの高温(5日間平均気温平年差+2.4℃以上)の可能性。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> | <p>・「はえぬき」「つや姫」「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。新品種「雪若丸」は増加傾向にある。</p> |
| 福島 | (生育) | <p>【6月26日現在】 (郡山市)</p> <p>「コシヒカリ」「ひとめぼれ」「天のつぶ」「ふくひびき」「あきたこまち」「里山のつぶ」「ちほみのり」「福実のり」「直穂天のつぶ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おおむね、平年と比べて、草丈は長く、茎数は少なく、葉齢は進み、葉色 (SPAD) はほぼ平年並み。 ・山間部では草丈、葉齢はほぼ平年並みだが、茎数が少ない。 <p>(郡山市農作物生産対策協議会(郡山市園芸畜産課) 7月2日付)</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量は日本海側で多く、太平洋側は平年並が多い見込み。日照時間は日本海側で平年並と少なく、太平洋側で、ほぼ平年の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期警戒情報】</p> <p>東北地方は7月8日頃からかなりの高温(5日間平均気温平年差+2.4℃以上)の可能性。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> | <p>・「コシヒカリ」「ひとめぼれ」を中心とする品種構成で、近年「天のつぶ」が増加傾向となっている。</p> |



| 茨城 | 生育状況等 | | |
|----|--|---|---|
| | <p>【水稲の生育状況（6月29日現在、水戸市）】 （5月1日移植・対平年遅速） 「あきたこまち」平年並、「ふくまる」1日早い、「コシヒカリ」2日遅い。</p> <p>（5月11日移植・対平年遅速） 「コシヒカリ」平年並。 （茨城県農業総合センター農業研究所 7月1日付）</p> <p>（生育）</p> <p>【水稲の生育状況（6月26日現在、龍ヶ崎市）】 （4月24日移植・対平年遅速） 「あきたこまち」2日遅い、「ふくまる」1日遅い、「コシヒカリ」1日遅い。</p> <p>（5月7日移植・対平年遅速） 「あきたこまち」5日遅い、「コシヒカリ」1日早い。 （茨城県農業総合センター農業研究所 7月1日付）</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁東京管区気象台）</p> <p>【高温に関する早期警戒情報】 東北地方は7月8日頃からかなりの高温 （5日間平均気温平年差+2.6℃以上）の可能性。 （気象庁東京管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁東京管区気象台）</p> | <p>・「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。 なお、オリジナル品種「ふくまる」がやや増加傾向にある。</p> |
| 栃木 | <p>【6月22日生育調査】</p> <p>(1) コシヒカリ ・草丈は高く（平年比126%）、莖数は多く（114%）、葉齢は0.2多く、葉色は0.8濃い。 ・生育診断値（葉色×莖数は平年比91%と小さい） ・現地調査ほ場は莖数が930～657本/m²とパツキが大きく、葉色が濃い。</p> <p>(2) とちぎの星 ・草丈は64cmで平年比122%と高く、莖数は738本/m²で平年比107%と多い。葉齢は9.7葉と平年並。 ・葉齢から判断すると、生育は平年並と考えられる。葉色は3.4で平年より1.0濃い。 ・生育診断値（葉色×莖数は2,531で平年比92%と小さい） ・現地調査ほ場は莖数が907～515本/m²となっており、5月23日移植の栃木市も必要莖数は確保されている。</p> <p>(3) 宇都宮市で5月4日移植コシヒカリの出穂は7月28日頃の見込み。（栃木県 6月25日付）</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁東京管区気象台）</p> <p>【高温に関する早期警戒情報】 東北地方は7月8日頃からかなりの高温 （5日間平均気温平年差+2.6℃以上）の可能性。 （気象庁東京管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁東京管区気象台）</p> | <p>・「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない なお、オリジナル品種「ふくまる」がやや増加傾向にある。</p> |
| 千葉 | <p>【6月25日現在】</p> <p>・6月中旬は、気温・日照とも高く推移したことから、全体的に生育が進んでいる。</p> <p>（生育進捗） 「ふさおとめ（4月20日植）」並、「ふさこがね4月20日植」やや早、「コシヒカリ（4月20日植）」やや早、「コシヒカリ（5月1日植）」やや早、「粒すけ（4月20日植）」並。 （千葉県 6月29日付）</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁東京管区気象台）</p> <p>【高温に関する早期警戒情報】 東北地方は7月8日頃からかなりの高温 （5日間平均気温平年差+2.6℃以上）の可能性。 （気象庁東京管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁東京管区気象台）</p> | <p>・「コシヒカリ」「ふさこがね」「ふさおとめ」を中心とする品種構成であり、近年「ふさこがね」が増加傾向にある。</p> |
| 新潟 | <p>【6月30日現在の生育状況】 「コシヒカリ」 指標値に比べ、草丈は「並」、莖数は「やや多い」、葉数の進みは「やや早い」、葉色は「並」、生育は3日程度早い状況。 【新之助】 指標値に比べ、草丈は「やや長い」、莖数は「やや多い」、葉数の進みは「やや早い」、葉色は「並」の状況。 【こしいぶき、ゆきん子舞、つきあかり】 長岡市に設置した調査ほ場では、つきあかり（5月7日植え）は6月28日、ゆきん子舞（5月1日植え）は6月30日に幼穂形成期を迎え、こしいぶき（5月11日植え）は6月30日時点で、幼穂が確認され始めている状況。（新潟県 7月1日付）</p> <p>(三 条) 「コシヒカリ」草丈、莖数は並、葉数はやや早く、葉色はやや濃い。「こしいぶき」草丈はやや長い、莖数は少ない、葉数はやや遅く、葉色は濃い。（ほ場間差大）。出穂は早生・中生とも「2日早い」の予想。 （三条農業普及指導センター 6月30日付）</p> <p>(長 岡) 本年の幼穂形成期及び出穂期は、昨年並で平年より2日早いと予想される。（長岡農業普及指導センター 6月30日付） 【魚 沼】 指標値に比べ、草丈は長、莖数はやや多、葉数はやや早、葉色は並。（魚沼農業普及指導センター 6月30日付） 【新潟】 生育の進みが早く、出穂が前年より1～2日程度早まる見込み。（新潟農業普及指導センター 7月1日付） 【上 越】 「コシヒカリ」草丈はやや長く、莖数はやや多く、葉数の進みはやや早く進んでいる。葉色はほ場による差が大きく、今後の生育に注意が必要。「こしいぶき」の生育は、草丈は長く、莖数は並、葉数の進みはやや早く、葉色は濃くなっている。5月10日～15日頃の田植では、7月26日頃の出穂期と予想される。（上越農業普及指導センター 6月30日付） 【糸川川】 「コシヒカリ」全体的に、生育は順調。現時点の予想では、出穂期（平場）は前年並。 （糸川地域振興局農林振興部 6月30日付）</p> <p>(佐 渡) 葉数は目標値並み、莖数が非常に多くなっている。出穂期は「平年より1日程度早い」と予想される。 （佐渡農業普及指導センター 6月30日付）</p> <p>(新発田) 【管内のコシヒカリ生育状況】生育は早く、出穂は平年より3～4日早い見込み（新発田農業普及指導センター 7月1日付） 【新潟】 【生育調査結果（6月19日調査）】コシヒカリの生育は指標値に比べ、草丈：「並」、莖数「並」、葉数「並」、葉色「並」。（新潟農業普及指導センター 7月1日付）</p> <p>(岩 船) 出穂期は早生・コシヒカリとも平年より2日早い予想（6月22日現在）。「こしいぶき」7月28日、「コシヒカリ」8月7日。 （村上農業普及指導センター 6月29日付）</p> <p>(巻) 出穂期は、早生・中生とも平年より2日程度早い見込み、「コシヒカリ」は、草丈「並」、葉色「やや淡」。 （巻農業普及指導センター 6月30日付）</p> <p>(柏崎) 全体的に生育は早まっている。（柏崎地域農業振興協議会 7月5日付） 【十日町】 草丈はやや長い、莖数はやや多い、葉色はやや淡いとなっており、生育は平年よりやや早く進んでいる。 （十日町農業普及指導センターほか 6月30日付）</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】 北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p> <p>【高温に関する早期警戒情報】 東北地方は7月8日頃からかなりの高温 （5日間平均気温平年差+2.4℃以上）の可能性。 （気象庁新潟地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p> | <p>・「コシヒカリ」「こしいぶき」を中心とする品種構成となっているものの、高温多湿でも品質が安定している「てんこもり」「富富富」が増加傾向にある。</p> |
| 富山 | <p>【6月30日生育観測】</p> <p>(1) てんたかく 平年に比べ、草丈は長く、莖数は多く、葉色は並み、葉齢は進んでいる。葉齢を揃えて比較すると、草丈はやや長く、莖数は多く、葉色は平年並みとなっている。今後平年並みの気温で推移した場合、出穂期は7月13日頃と見込まれる。</p> <p>(2) コシヒカリ 平年に比べ、草丈、莖数、葉色は並み、葉齢はやや進んでいる。葉齢を揃えて比較すると、草丈、莖数、葉色は平年並みとなっている。生育量（草丈×m²莖数×葉色÷1000）の平均値は、127と平年並みとなっている。今後平年並みの気温で推移した場合、出穂期は平年より2日程度早い7月31日頃と見込まれる。</p> <p>(3) てんこもり 平年に比べ、草丈、葉齢は並み、莖数はやや少なく、葉色はやや淡くなっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈は平年並み、莖数はやや少なく、葉色はやや淡くなっている。今後平年並みの気温で推移した場合、出穂期は平年並みの8月4日頃と見込まれる。</p> <p>(4) 富富富 近年に比べて、草丈は長く、莖数、葉色は並み、葉齢は進んでいる。葉齢を揃えて比較すると、草丈、莖数、葉色は近年並みとなっている。今後平年並みの気温で推移した場合、出穂期は近年より2日程度早い8月1日頃と見込まれる。（富山県 6月30日付）</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】 北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p> <p>【高温に関する早期警戒情報】 東北地方は7月8日頃からかなりの高温 （5日間平均気温平年差+2.4℃以上）の可能性。 （気象庁新潟地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p> | <p>・「コシヒカリ」を中心とする品種構成であるが、近年県オリジナル品種の「てんこもり」「富富富」が増加傾向にある。</p> |
| 石川 | <p>【本田の生育6月29日調査】</p> <p>(出穂期予想)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ゆめみづほ」の出穂期予想は、加賀地域で7月12～17日頃と平年に比べ3～5日程度早く、能登地域（羽咋～中能登）は7月19日頃と平年に比べ5日程度早くなる見込まれる。 ・能登地域（奥能登～珠洲）の「能登ひかり」の出穂期は、7月19～22日頃と近年に比べ2～6日程度早くなる見込まれる。 <p>(葉齢)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コシヒカリの葉齢展開からみた生育の遅速は、平年に比べ1～2日程度早いと見込まれる。 ・ひやくまん穀の葉齢展開からみた生育の遅速は、加賀地域では近年に比べ1～2日程度早く、能登地域では6日程度早いと見込まれる。 <p>（石川県農林総合研究センター 6月29日付）</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】 北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p> <p>【高温に関する早期警戒情報】 東北地方は7月8日頃からかなりの高温 （5日間平均気温平年差+2.4℃以上）の可能性。 （気象庁新潟地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p> | <p>・「コシヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成であるが、近年県オリジナル品種の「ひやくまん穀」が増加傾向にある。</p> |
| 福井 | <p>【7月2日調査】</p> <p>・移植コシヒカリでは来週中に幼穂形成期を迎える予定。 （水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月2日付）</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】 北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p> <p>【高温に関する早期警戒情報】 東北地方は7月8日頃からかなりの高温 （5日間平均気温平年差+2.4℃以上）の可能性。 （気象庁新潟地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁新潟地方気象台）</p> | <p>・「コシヒカリ」「ハナエチゼン」を中心とする品種構成であるが、近年「コシヒカリ」が増加傾向にある。「あきさかり」が増加傾向にある。なお、新品種である「いちほまれ」も増加傾向にある。</p> |
| 長野 | <p>【7月1日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生育は「平年より3～4日早い」と推定。 ・定点園場では草丈は平年より長く、莖数は平年並の傾向。定点園場の「あきたこまち」の幼穂長は1mm程度、と数日で幼穂形成期に入る見込み。（松本農業農村支援センター 7月2日付） <p>（生育）</p> <p>【6月25日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田植え作業は、5月上旬以降も好天が続く、高温で推移したことから順調に行われ、一部の大規模農家を除き6月中旬には終了となった。初期生育は概ね順調であるが、全般に葉蟎・害虫の発生が多い傾向にある。（北信農業農村支援センター（中野市） 7月2日付） | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁東京管区気象台）</p> <p>【高温に関する早期警戒情報】 東北地方は7月8日頃からかなりの高温 （5日間平均気温平年差+2.6℃以上）の可能性。 （気象庁東京管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁東京管区気象台）</p> | <p>・「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種として「あきさかり」の導入を推進している。</p> |



| 生育状況等 | | | |
|-------|---|--|---|
| 滋賀 | <p>【農業技術振興センター水稲作況調査（6月19日時点）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草丈は、「みずかがみ」、「コシヒカリ」とも昨年より長かった。 ・茎数は、両品種ともに昨年より少なかった。 <p>（生育）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉数は、「みずかがみ」が0.3枚多く、「コシヒカリ」は0.4枚多かった。 <p>（滋賀県農業技術振興センター 6月25日付）</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁大阪管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁大阪管区気象台）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」「キヌヒカリ」「日本晴」を中心とする品種構成であるが、近年「コシヒカリ」「キヌヒカリ」が減少傾向となっている。高温多湿性に優れた「みずかがみ」が増加する計画である。 |
| 兵庫 | <p>（県北）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コシヒカリの葉齢の進展は昨年よりやや遅く、草丈はやや長く、茎数は少ない。遅植えでは葉齢の進展はやや遅く、草丈はかなり長く、茎数はかなり多い。 <p>（生育）</p> <p>（県北以外）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・葉齢の進展は昨年よりやや早く、草丈は昨年並みからやや低い。茎数は多い。 <p>（兵庫県 7月3日付）</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁大阪管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁大阪管区気象台）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」「山田錦」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付推進を図っている。 |
| 岡山 | <p>（生育）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茎数は概ね平年並で推移している。 ・極早生種の生育は概ね平年並である。 <p>（岡山県 7月2日付）</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁広島地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁広島地方気象台）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「アケボノ」「ヒノヒカリ」「あきたこまち」「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。近年「きぬむすめ」が増加傾向となっている。 |
| 広島 | | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁広島地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁広島地方気象台）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「あきさかり」が増加傾向にある。 |
| 愛媛 | | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁高松地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁高松地方気象台）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。 |
| 高知 | <p>【早期稲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天候に恵まれ、生育は概ね順調である。出穂期は、「南国そだち」が6月18日で平年並、「よさ恋美人」が6月24日で前年並であった。「コシヒカリ」は、標準植えで7月3日と予想されており、昨年よりも遅れ気味となっている。 ・収穫盛期は「南国そだち」が7月21日頃、「よさ恋美人」が7月27日頃、「コシヒカリ」標準植えが8月4日頃と予想されている。 <p>（生育）</p> <p>【普通稲】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生育は、地域によって平年並からやや遅れているところまでばらつきがあるものの、概ね順調に進んでいる。 <p>（高知県病害虫防除所 7月7日付）</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁高松地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁高松地方気象台）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・早期栽培では「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成であるが、近年、高温多湿性に優れた「よさ恋美人」が増加傾向にある。「南国そだち」は減少傾向。 ・普通栽培では「にこまる」が増加傾向にある。 |
| 福岡 | <p>【6月15日現在】</p> <p>（1）早生水稲（夢つくし、ｺﾓﾄﾘ）</p> <p>田植え後、4月の低温の影響で初期生育はやや遅れていたが、5月からの高温多照により回復。4月下旬植えの出穂期は平年並の7月中旬の見込み。</p> <p>（生育）</p> <p>（2）普通期水稲（夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど）</p> <p>5月中旬～6月上旬植えは、田植え後、高温多照で経過したため、活着がよく生育は順調。麦収穫後の田植えも始まり、平坦地の「夢つくし」は6月上旬、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬が最盛期となる見込み。</p> <p>（福岡県農林業総合試験場 6月15日付）</p> | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁福岡管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁福岡管区気象台）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「夢つくし」「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「ヒノヒカリ」が減少傾向、「夢つくし」「元気つくし」が増加傾向となっている。なお、県では今後、新品種「夢りつくし」の拡大を推奨している。 |
| 熊本 | | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁福岡管区気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州北部地方の3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁福岡管区気象台）</p> <p>【令和2年7月4日の大雨による農林水産関係被害状況】</p> <p>（水田等への土砂流入）</p> <p>八千代市、水原市、天草市、芦北町、球磨地域等 （熊本県災害対策本部 7月6日午後3時）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「ヒノヒカリ」「森のくまさん」「コシヒカリ」を中心とする品種構成に、大きな変化はない。 |
| 宮崎 | <p>（生育）</p> <p>【作物の生育状況（6月中旬）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早期水稲は穂ばらみ期、普通期水稲は移植前後（宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 6月23日） | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁鹿児島地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁鹿児島地方気象台）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みき380」への作付誘導が進められている。 |
| 鹿児島 | | <p>【向こう1か月の天候の見通し 7月4日～8月3日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁鹿児島地方気象台）</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。 （気象庁鹿児島地方気象台）</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「なつほのか」及び「あきほなみ」が増加傾向である。 |

注1：園及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：令和2年7月7日 15時時点での取り纏め。
注3：更新箇所は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況 7月1日現在(北海道 7月6日)、
農作物生育状況 7月1日現在(北海道空知総合振興局 7月6日)、
農作物生育状況 7月1日現在(北海道石狩振興局 7月6日)、
農作物の生育状況 7月1日現在(北海道後志総合振興局 7月6日)、
農作物の生育状況 7月1日現在(北海道胆振総合振興局 7月3日)、
農作物の生育状況 7月1日現在(北海道日高振興局 7月6日)、
農作物の生育状況 7月1日現在(北海道渡島総合振興局 7月6日)、
農作物の生育状況 7月1日現在(北海道檜山振興局 7月6日)、
農作物の生育状況 7月1日現在(北海道上川総合振興局 7月6日)、
農作物生育状況調査の概要 7月1日現在(北海道留萌振興局 7月6日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 7月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 7月6日)、
稲作生産情報第5号(青森県 7月3日)、
令和2年度水稲生育定期調査結果No.3(6月25日現在)(岩手県農業研究センター 6月26日)、
令和2年度水稲生育診断ほ生育状況No.2(6月24日現在)(大船渡農業改良普及センター 6月26日)、
令和2年度産水稲の生育状況について(7月1日現在)(宮城県農政のみやぎ米推進課 7月2日)、
仙台稲作情報2020(第5号)(宮城県仙台農業改良普及センター 7月2日)、
令和2年度大崎稲作情報第3-2号(宮城県大崎農業改良普及センター 7月2日)、
栗原の稲作通信令和2年第4号(宮城県栗原農業改良普及センター 7月3日)、
稲作情報(vol.4)(宮城県石巻農業改良普及センター 7月2日付)、
令和2年度気仙沼・南三陸稲作情報第6号(宮城県気仙沼農業改良普及センターほか 7月3日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」http://www.e-komachi.jp/ 7月3日)、
つや姫・雪若丸通信第3号(村山農業技術普及課 7月2日)、
西おきたま米づくり情報No.8(西置賜農業技術普及課 7月3日)、
北村山のおいしい米づくり情報雪若丸だより 穂肥編(北村山農業技術普及課 7月3日)、
おいしい米づくり情報第9号(庄内総合支庁 7月3日)、
つや姫だより 穂肥編(北村山農業技術普及課 7月3日)、
主要な農作物の生育情報令和2年度第3号(福島県農林水産部 6月10日)、
「こおりやまの米」通信 生育状況速報(6月26日現在)(郡山市農作物生産対策協議会 7月2日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 7月1日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 7月1日)、
令和2(2020)年度水稲生育診断予測事業速報No.3(栃木県 6月25日)、
水稲の生育と当面の対策第4報(千葉県 6月29日)、
水稲の生育と今後の管理対策(第4号)(新潟県 7月1日)、
令和2年度水稲生育速報No.4(新潟県農業普及指導センター 7月1日)、
水稲生育速報No.4(巻農業普及指導センター 6月30日)、
FAX稲作情報No.7(三条農業普及指導センター 6月30日)、
水稲生育速報(長岡農業普及指導センター 6月30日)、
コンヒカリ生育情報(魚沼農業改良指導センター 6月30日)、
南魚沼産コンヒカリ生育速報No.4(6月30日調査)(南魚沼農業普及指導センター 7月1日)、
柏崎・刈羽地域稲作だより(共通版No.6)(柏崎地域農業振興協議会 7月5日)、
コンヒカリ・こしいぶき生育速報(6月30日)(上越農業普及指導センター)、
令和2年度糸魚川売れる米づくりコンヒカリ生育情報No.4(糸魚川地域振興局 6月30日)、
令和2年度稲作生育速報No.4(佐渡農業普及指導センター 6月30日)、
十日町地域稲作生育速報(十日町農業普及指導センターほか 6月30日)、
稲作速報No.4(新潟農業普及指導センター 6月30日)、
岩船米づくり情報No.4(村上農業普及指導センター 6月29日)、
TACS情報第6号(富山県 6月30日)、
令和2年度産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-6号)(石川県農林総合研究センター 6月29日調査)、
稲作情報No.10(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月2日)、
令和2年作物技術普及情報第8号(松本農業農村支援センター 7月2日)、
農作物生育概況 令和2年6月25日現在(北信農業農村支援センター 7月2日)、
令和2年度水稲生育診断情報No.2(滋賀県農業技術振興センター 6月25日)、
令和2年度兵庫県農業気象技術情報No.3(7月情報)(兵庫県 7月3日)、
令和2年度病害虫発生予報第4号(岡山県病害虫防除所 7月2日)、
令和2年度病害虫発生予報6月月報(高知県病害虫防除所 7月7日)、
福岡県の主な農産物の生産情報(福岡県 6月15日現在)、
令和2年度病害虫発生予報第3号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 6月23日)、

令和2年(2020年)7月4日(土)大雨特別警報の発表に係る熊本県災害対策本部会議(第4回)(熊本県災害対策本部 7月6日午後3時)

北海道地方こう1か月の天候の見通し(7月2日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(7月2日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(7月2日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(7月2日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(7月2日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(7月2日広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(7月2日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(7月2日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(7月2日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(6月24日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し((6月24日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し((6月24日気象庁)
北陸地方こう3か月の天候の見通し((6月24日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し((6月24日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し((6月24日広島地方気象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し((6月24日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(6月24日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し((6月24日鹿児島地方気象台)、

早期天候情報(7月2日気象庁)

令和2年度産水稲の10a当たり平年収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月17日)